

張が高まるが多くなった。さらに、入学という環境の変化に対する緊張も重なり、母親の愛情を強く求めようとしたが、受け入れられなかったため、『赤ちゃん返り』を呈したものと思われる。

(2) 母親は、A子を離すことに不安を抱いている。これがA子を精神的に未熟な子として成長させ、不登校へとすすんでいった原因の1つとなっていると考えられる。

5 指導方針

(1) 両親へのかかわり

① 面接を通してA子へのかかわり方の問題点を考えさせ、養育態度の改善を図る。

② A子に対する母親の愛情が、以前と少

しも変わっていないことを、A子への対応の仕方で気付かせていく。

③ A子にできることは任せる。また、ほめたり、励ましたりすることによって自信をつけさせ、自主性を育てる。

(2) 本人へのかかわり

① 他の子供たちと一緒に遊ばせ、社会性の育成に努める。

② 一人で登校できるようになるまでは、母親と一緒に登校させる。母親と一緒に教室で勉強することを許容する。

③ 学級担任がA子とのラポールをつくり、時には母親の代わりを演ずることに努める。

6 指導援助

両親の養育態度の改善	担任としてのA子へのかかわり
<p>母親が、不安定なA子の気持ちに気付いて、養育態度を改善していくように、面接を通して次のような指導援助をした。</p> <p>○ 母親の愛情が、A子自身に十分注がれていることを感じとらせて、「お母さんを取られた、お母さんは変わってしまった」という幼い心配を取り除くため、次のようにかかわってくれるよう話した。その結果、母親は、次のようにかかわった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A子の名前を機会あるごとに呼ぶようにした。 ・ A子が話しかけてきたり、体に触れたりするなど、かかわりを求めるようなしぐさをしたら、「なにに?」「どうしたの?」「そうー」「そうなの」と、やさしく聴くようにした。 ・ 授乳のとき、「お姉ちゃんも、こうしてお母さんのオッパイを飲んでいたのよ」と言ったり、おむつを取り替えるときに、A子の小さいころを思い出して、懐かしそうに話してあげたりした。 <p>○ 自分のことは自分でできるようにしつけることを目指しながらも、できるだけA子の要求に応じてあげるように動めた。その結果、母親は次のようにかかわった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A子が、「お母さん、着れない、やって」「一人じゃ、片付けするのはイヤ」などと甘えてきたときには、その要求に応じてやった。手が離せないときは、「後で一緒にしようね」とやさしく言って、A子の甘えを受け入れてあげるように努めた。 <p>○ A子が父親と遊びたい気持ちであることを、理解してもらった。特に遊びを通して父親とA子とのきずなを強めることに焦点づけて話をした。その結果、父親は次のようにかかわってくれた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 父親の運転で公園や買い物などに行った。 ・ 一緒に植木に水をあげたり、金魚や犬の世話をしたりして、できるだけA子とともに過ごす時間を多くもつように努めた。 	<p>○ A子が、再登校する際に抱くであろう不安や緊張を取り除くために、次のようなことに配慮し、受け入れ態勢を整えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A子の気持ちを傷つけるような言動がないように、学級の児童に「A子がお母さんと登校する日もあるので、A子と仲良くしてね」と話した。 ・ 学級での存在感を味わわせるため、学級におけるA子の役割を本人の希望する『お花係』とした。 <p>また、A子と仲良しのB子を同じ係にし、一緒に水をあげたり、陽のあたる所へ植木を出したりする仕事を経験できるようにした。</p> <p>○ A子の家に遊びに行く機会をつくり、級友たちのかかわりが維持されるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A子が参加した遠足の写真や友達の書いたお便りを仲のよいB子に持たせ届けさせた。 ・ 仲のよいB子とC子に訪問させ、A子の好きなお絵かきや折り紙などを一緒にした。 ・ 担任と、B子、C子が訪問し、庭で一緒になわとびや、風船つきなどした。 <p>このような場では、担任が、母親もA子と一緒に遊ぶように促した。その過程でA子を受容したりほめたりしながら、社会性を育むかかわり方を母親に示した。</p> <p>○ 2か月ぶりで母親と登校したA子を、児童たちが温かく受け入れてくれるように次のように配慮した。「A子ちゃんの席はここよ、私のそばね」「A子ちゃんのかかりはね、私と一緒にする『お花係』なの」などと、やさしく話かけさせた。また、休み時間には「A子ちゃん、校庭で一緒に遊ぼう」と誘うようにさせた。</p>